

ミニシタ

あぜみち通信

平成24年1月1日

133号

編集・発行：愛知県農業会議

新年おめでとうございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、多くの尊い人命が失われ、農林水産業は大打撃を被りました。そのような中、農業委員会系統組織としても、全力をあげて支援に取り組んでまいりました。

その一方で、昨年11月、野田首相は、環太平洋連携協定(T P P)参加に向けて関係国と協議に入ることを表明しました。これは、たくさんの反対・慎重対応を求める決議に現れた国民の声を無視したものであり、今後の動向をしっかりと注視していく必要があります。

こうした中、改正農地法等が施行され、はや二年が経過し、食料生産の基礎的資源であり地域の貴重な資源である農地の確保と有効利用に万全を期すことが喫緊の課題であります。

そのため、農業委員会系統組織では、農地の利用調整や遊休農地対策の取り組みを進め、目に見える成果を目指して活動に取り組んでいるところであります。

本会としましても、こうした様々な取り組みを進め、たゆまぬ努力を続けていく所存でありますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のますますのご健勝とご一家のご繁栄を心から祈念し、ごあいさついたします。

愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

あけましておめでとうございます

皆様にとりましても、本年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、愛知県農業会議の事業へのご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同

◎ 平成23年度全国農業委員会会長代表者集会在開催されました

12月7日に東京都千代田区平河町の「砂防会館」において、全国農業会議所主催の平成23年度全国農業委員会会長代表者集会在開催されました。

全国農業会議所の二田会長は、主催者あいさつの中で、「T P P交渉については、新たな段階に入ったが、以前情報の公開が十分ではなく、今後の農業委員会系統組織としてしっかり関心を持って対応したい。」など決意を述べられました。

来賓挨拶が、岩元農林水産副大臣、吉田衆議院農林水産委員長、小川参議院農林水産委員長よりありました。

その後、代表者集会的第一部として、元食糧庁長官・弁護士の高木賢氏が「農業委員会のさらなる取り組みに期待する」と題して講演があり、「農業委員会の活動が政府や経済界等からなぜ攻撃をうけるのか」その要因が説明され、そのような状況の中、「農業委員会の存在意義、積極的な活動による成果を示すことが現在求められている。」と講演されました。

引き続き、埼玉県、長野県及び宮城県の農業委員会から活動事例の発表が行われました。埼玉県深谷市農業委員会塚越石夫会長は、耕作放棄地解消を目的とした「アグリハローワーク」による実践活動を報告されました。第2番目は、長野県飯島町農業委員会森本令子会長による、女性グループと行政の連携、家族協定締結家族の会「百笑会」等を通じた地域の活性化と農地の有効利用等の実践活動が報告されました。第3番目は、宮城県仙台市農業委員会渡邊龍彦会長による、「震災からの普及・復興に向けた取り組み」が報告されました。渡邊龍彦会長が、3月11日当日の生々しい震災の状況と体験を報告すると、会場が一瞬静まりかえり震災の悲惨さがひしひしと伝わってまいりました。そして、困難な救援活動の様子や農業委員、職員の安否の確認、現在の復興計画の策定等説明がありました。

次に、第二部として、「要請・申し合わせ決議」が行われ、①東日本大震災からの復興と食と農業の再生に向けた決議、②T P P交渉参加撤回を求める決議、③地域に根差した農業委員会活動のさらなる取り組みに関する申し合わせ決議、④「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議、についての趣旨説明があり、満場一致で採択されました。

また、会長、支部長、農業会議職員により本県選出のすべての国会議員に対して要請活動を行いました。

◎ 農業者年金加入推進セミナーが開催されました

12月6日に東京都千代田区平河町の「砂防会館」において、全国農業者年金連絡協議会、全国農業会議所共催の農業者年金加入推進セミナーが開催されました。

二田世話人代表はあいさつの中で、「農業者年金の加入推進として10万人早期突破・新規加入者の底上げを目指して取り組んできたが、本年7月に目的を達成することができた。一方、年間新規加入者6,000人については、目標達成が難しい状況である。今後とも関係機関・団体が丸となって制度の定着・普及に努めていきたい。」と述べられました。

来賓としては、農林水産省佐々木大臣官房審議官、(独)農業者年金基金中園理事長から祝辞がありました。

その後、「農業と暮らし～原発難民となって思うこと～」を演題に元宇宙飛行士であり、農業者・ジャーナリストの秋山豊寛氏から講演がありました。

引き続き、「更なる加入推進に向けて、いま何が必要か」をテーマにパネルディスカッションが行われました。北海道中標津町安田稔農業委員会会長、とちぎ女性農業委員の会大出陽子会長、新潟県五泉市農業者年金受給者連盟齋藤進会長、宮崎県農業委員会事務局岩切直人主任主事の方々が、農業者年金の加入推進に向けた取り組みや苦労話、推進のポイント等日頃の活動状況が報告されました。また、谷脇修コーディネーターから、農業者年金の仕組みをイラストでわかりやすく解説したパンフレットを作成中であり、今後の活動に利用していただきたい旨の紹介がありました。最後に「のうねん倶楽部の組織活動強化と新規加入者の底上げ」に関する申し合わせ決議を採択してセミナーを終了しました。

◎ 常任会議員会議（12月）の審議状況について

12月15日に「愛知県白壁庁舎」において、農地法等に係る愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

12月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案19件(平成22年12月29件)、6,713㎡(同12,513㎡)、同法5条に基づく転用事案203件(同198件)、140,694㎡(同133,907㎡)、農業振興地域の整備に関する法律第15条の2に基づく諮問事案1件、5,032㎡についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

また、土地区画整理法第136条に基づく諮問1件、施行面積92,137㎡(関係農地面積68,331㎡)について審議し、諮問のとおり事業計画を進めることは差し支えない旨答申することで承認されました。

議事終了後、石川常任会議員から本年度設立された「あいち女性農業委員ネットワーク」の活動状況について報告がありました。

◎ 平成23年度農業委員農林水産大臣表彰が行われました

あま市農業委員会山田久太郎氏が、11月8日に平成23年度農業委員農林水産大臣賞を受けられ、12月22日に愛知県農林水産部小出部長から賞状が伝達されました。

氏は、21年余りの長期にわたり地域農業の振興に努められ、昭和59年から平成2年までは会長職を努め農業委員会の良き指導者として活躍されました。また、農家の減少や農地の市街化が進む中、農地としての利用はもとより、市街化区域内の農地を農業生産のための緑地として保全するなど、大都市に隣接した農業振興に大きな役割を果たしたことが高く評価されました。

これまでの功績に改めて敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

◎ 水田農業構造改革推進会議が開催されました

12月15日に、名古屋市中区内の「愛知県自治センター」において、水田農業構造改革推進会議が開催されました。

愛知県小川副知事はあいさつの中で、「食料自給率の向上に向けた戸別所得補償制度等が実施されるなか、来年の米の需給調整については、全国の生産数量目標が対前年2万トン減の793万トンが示された。本県に12月1日付けで生産数量目標は、141万トン余、面積換算値で28千ha余と通知されたことから、市町村別生産数量目標を設定するために、今回、十分な審議を経て生産数量目標の決定をお願いしたい。」と述べられました。

また、愛知県農業協同組合中央会二村副会長が、農業団体を代表して、「東日本大震災等の影響により価格の推移が不明瞭であるが、稲作経営者等の合意形成により需給調整を進めていきたい。」と述べられました。

報告事項として、①平成23年産米の需給調整の取組状況について、②平成23年度農業者戸別所得補償制度の取組状況について、③平成24年産米の需給調整と農業者戸別所得補償制度の概要について説明があり、原案どおり了承されました。

また、協議事項として、「平成24年産米の市町村別生産数量目標の設定方針(案)」についても、原案どおり了承されました。

◎ 今後の主な行事予定

- 1月 6日 愛知県漬物振興祭（熱田神宮会館）
- 1月17日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 1月17日 あいちアグリアウォード表彰式（JAあいちビル）
- 2月16日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 3月15日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 3月26日 愛知県農業会議総会（水産会館）